

第 30 回評価委員会（7/8）での主な意見

○27年度小項目評価について（※ページは第31回評価委員会資料1-3参照）

【第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する意見】（p5）

「救急医療」（p5）

- ・単純に中央市民病院とは比較できないが、西市民病院についても救急車搬送の受入れ強化について更なる努力をお願いしたい。

「5 疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞，糖尿病及び精神疾患）への対応」（p16）

- ・医療資源の適正な配分の観点からも，抗がん剤や肝炎薬をはじめとした高額な薬剤については，症例に合わせた適切な使用を心がけて欲しい。

「医療安全対策及び医療関連感染（院内感染）対策の強化」（p33）

- ・インシデント報告件数が少ない印象を受ける。医療安全に対して院内を挙げて力を入れていくという姿勢が重要である。
- ・アクシデントを未然に防ぐためのインシデントレポートについて，医療安全への寄与という側面からもレポート作成を奨励することは，非常に重要なことである。

「患者のニーズに応じたサービスの提供」（p41）

- ・待ち時間を短くするために，FAX予約については予約後も日時の変更ができるということを連携している医療機関に対してきっちりとPRしてほしい。

【第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置】（p56）

「優れた専門職の確保」（p56）

- ・市民病院のような急性期病院で実習している神戸市看護大学からの就職率を向上させてほしい。

【第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置】（p70）

「安定的な経営基盤の維持」（p70）

- ・経営改善への取り組みで重要なのは，第一線で働いている医師が経営マインドをもつことである。
- ・非常に高い入院単価でありながら，結果として，赤字決算となってしまったことについて，点検すべきである。